

大谷學報

第六十六卷 第二号

昭和六十一年九月三十日発行

三朝高僧伝攷……………	滋賀 高義 (1)
—— 訳経篇にみる役職名について——	
松誉巖的著述攷……………	後小路 薫 (16)
—— 西国洛陽三十三所の観音靈驗記を中心に——	
昭和六十年年度 特別研修員研究発表要旨……………	(29)
彙報……………	(53)
学位論文審査要旨……………	(31)
Sāṃkhya 思想における認識主体の問題……………	
—— upādhi, caitanya を中心として——	浅野 玄誠 (15)
存在拘束性概念をめぐって……………	千葉 芳夫 (1)
—— Seinsgebundenheit への Seinsverbundenheit——	

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第三十八集

誓願一仏乘……………神戸 和麿

——仏と魔——

鳩摩羅什の訳経……………木村 宣彰

——主要経論の翻訳とその草稿訳について——

本朝目錄史考……………高橋 正隆

——紫微中台遺品『判比量論』の研究——

平安時代寺名索引……………佐々木令信

——『小右記』『権記』『御堂関白記』『左経記』——

大谷学報 第六十六卷 第一号

アーサー・ケストラーの生涯と

彼の問いかけ……………多田 稔

大乘阿毘達磨集論 (Abhidharmasamuccaya)

並びに Abhidharmasamuccaya-bhāṣya

の和訳 (2) ……………舟橋 尚哉

六〇七世紀における荆州佛教の動向……………大内 文雄

言語と反省……………須藤 訓任

——クロソウスキー『ディアナの水浴』より——

T3ファージの尾部繊維の構造……………加藤 尚子

THE
OTANI GAKUHO
(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

- A Study of the *Biographies of Eminent
Monks of the Three Dynasties* Takayosi Shiga (1)
—On the Titles of Government Officials
found in the Section on Translators—
- On the Works of Ganteki Shouyo Kaoru Ushiroshouji (16)
- ” Seinsgebundenheit ” und ” Seinsverbundenheit ” Yoshio Chiba (1)
- On the Subject of Perception
in Sāṃkhya Philosophy Gensei Asano (15)
—Centering on *upādhi* and *caitanya*—

- Résumés** of Papers presented in 1985 by
Special Research Fellows (29)

Miscellaneous :

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の學術研究と発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

- 一、季刊「大谷学報」の発行
- 二、「大谷大学研究年報」の発行
- 三、研究会及び公開講演会の開催
- 四、その他必要な事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。
2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

- 第五条 本会に左の役員を置く。
- 一、会長
 - 二、委員
 - 三、監事

第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。

2、監事は本会の会計を監査する。

第九条 会員は本会の出版物にその研究を發表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第一〇条 会員の会費は年額金四千元とする。但し、学生会員は貳千元とする。

第一一条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第一二条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第一三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員 大竹 鑑 木村 宣彰

寺川 俊昭 友田 孝興

長崎 法潤 名畑 崇

西井 元昭 藤田 昭彦

松村 尚子 箕浦 恵了

昭和六十一年九月三十日発行

大谷学会

編集兼 白井元成

印刷者 西村明

京都市北区小山上総町
大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都 四一八三九三番
電話 (〇七五) 四三二一三三二代
郵便 番号 六〇〇三

研究所紀要 第三号

(昭和五九年度研究報告)

目次

「ヴァルブルギスの夜」の背景——魔王の場について……………	岸 繁一
近代文学と仏教——宮沢賢治・芥川龍之介……………	渡辺貞磨
外村文学と浄土思想……………	喜多川恒男
萩原朔太郎詩の仏教的情想……………	仲野良一
ツォンカパの解明する清弁の中観思想——『了義未了義論』二(一)(A)(a)試解……………	片野道雄
フレーベルのロマン主義——幼児教育におけるその有効性について……………	土戸敏彦
天台智顛の医学思想序説……………	山野俊郎
福井県大野市・勝山市・足羽郡美山町 真宗寺院史料目録……………	大桑 斉
Chih-i's Interpretation of the Four Noble Truths in the <i>Fa hua hsuan i</i> ……………	Paul L. Swanson
Annotated Translation of the <i>Ssu-chiao-i (On the Four Teachings), Chuan I</i> ……………	Robert F. Rhodes
A Review of Some Approaches to Hermeneutics and Historicity in the Study of Buddhism……………	John C. Maraldo

(A5版・四二二頁・一九八六年一月刊)

お問い合わせは大谷大学内真宗総合研究所まで